

施策番号	1603		
施策名	高齢者を支えるネットワークの推進		
概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、地域による見守りのネットワークを推進するとともに、生活上の安心・安全と健康の確保に向けたサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

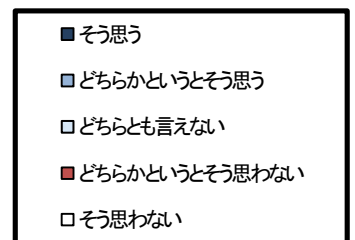
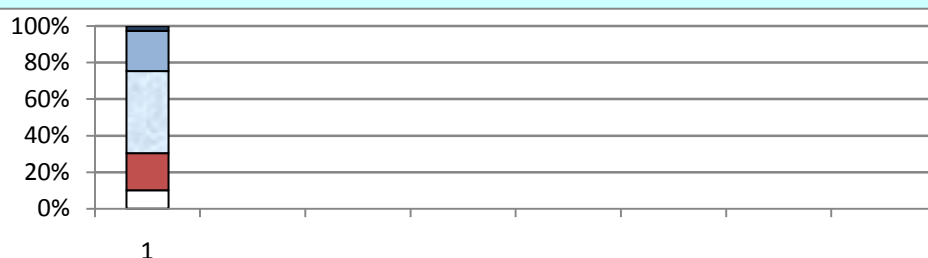
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 老人福祉員訪問者数(人)	-	a	30,042	31,315	30,042	104.2%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心して暮らせるまちになっている。	14 2.6%	118 22.0%	241 45.0%	109 20.3%	54 10.1%	536	c
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一人暮らしの高齢者等に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						年 度	-
(原因分析) ・客観指標総合評価について、増加する高齢者を支援するため精力的に訪問活動に取り組んだ結果、訪問者数が過去最高値を上回り、a評価を得た。 ・一方で、市民生活実感評価については、4割を超える方がどちらとも言えないと回答しており、老人福祉員の活動など高齢者を地域で見守る取組について、周知を図る必要がある。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	老人福祉員設置事業	36,277	36,541	かなり良い	保健福祉局
2	緊急通報システム事業	239,997	230,871	良い	保健福祉局
3	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	2,906	2,907	かなり良い	保健福祉局
4	配食サービス事業	101,972	124,122	普通	保健福祉局
5	地域包括支援センター運営事業	1,155,589	1,600,201	かなり良い	保健福祉局
6	一人暮らしお年寄り見守りサポーター事業	4,289	6,136	かなり良い	保健福祉局
7	配食サービス事業(60~64歳)	2,099	1,764	普通	保健福祉局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・高齢化率の上昇や単身世帯の増加を踏まえて、高齢者が地域において安心していつまでも生活できるよう、老人福祉員活動の推進や地域包括支援センターの人員体制の強化、地域の様々な社会資源の連携により、今後とも高齢者を支えるネットワークを推進していく。

施策名	1603	高齢者を支えるネットワークの推進									
指標名	老人福祉員訪問者数（人）										
担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106								
1 指標の説明											
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	30,042	31,315	1,273人増	30,042	過去5年間の最高値	104.2%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新の数値を過去の数値と比較して、 a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去5年間の上中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値）の間 e：過去5年間の下中間以下		過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：30,042人（平成22年度） 平均値：27,980人 最低値：26,935人（平成18年度）		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									